

# 第54回 医学教育セミナーとワークショップ in 九州大学

## 開催要項・参加者募集

医学教育開発研究センターは、新しい医学教育の開発と普及を目的とした“医学教育セミナーとワークショップ”を毎年4回開催し、全国から多くのご参加をいただいております。第54回医学教育セミナーとワークショップは、九州大学大学院医学研究院医学教育学分野と共同開催いたします。奮ってご参加ください。

九州大学大学院医学研究院医学教育学分野 吉田素文  
岐阜大学医学教育開発研究センター 鈴木康之

**日程** 2014年10月18日(土)～19日(日)

**会場** 九州大学医学部 百年講堂

- 2014  
秋
- WS-1 プロフェッショナリズムをどう教えるか？
  - WS-2 指導医のモチベーションをどう維持するか
  - WS-3 医学生・若手医師の系統的キャリア形成を考えるワークショップ
  - WS-4 クリクラで使えるPBLシナリオWS ～文化人類学的視点を医学生に植え付ける
  - WS-5 医療者教育研究のリーサークエスチョンを立てる
  - WS-6 模擬患者大交流勉強会
  - WS-7 患者のためのチーム医療における薬学部学生および薬剤師のコミュニケーションスキルアップのために何が必要か？
  - WS-8 学生の心をつかむ臨床指導 ～1分間指導法Get！
  - WS-9 教育効果の高い症例カンファレンスの実践方法
  - セミナー 電子教材における著作権 ～オープンエデュケーションリソース構築のために～

プログラム							
18日(土)	午前					WS-5	
	午後	WS-1	WS-2	WS-3	WS-4	WS-5	WS-6
	夕	セミナー					
	夜	懇親会					
19日(日)	午前	WS-1	WS-7	WS-8	WS-4	WS-9	WS-6

## WS-1 プロフェッショナリズムをどう教えるか？

企画：九州大学医療系統合教育研究センター、日本歯科医学教育学会、田口則宏（鹿児島大学）、宮田靖志（北海道大学）

日時：10月18日(土)13:00-17:00、19日(日)9:00-12:30

概要：すべての医療専門職教育においてプロフェッショナリズム教育の重要性が認識されるようになり、すでにさまざまな取り組みが始まっています。このワークショップでは、所属する教育機関におけるプロフェッショナリズム教育の質を高めるにはどうしたらよいかという問題意識を共有しながら、参加者が持ち寄った日常の医療や教育の現場で接する事例をもとに、プロフェッショナリズムの現状を把握し、何をどのように教える（学ばせる）べきか議論します。参加される方には、プロフェッショナリズムに関する事前調査にご協力をお願いする予定です。

対象：医療系教育機関の教員、臨床指導者（定員40名）

## WS-2 指導医のモチベーションをどう維持するか

企画：江村 正（佐賀大学）、尾原晴雄（沖縄県立中部病院）

日時：10月18日(土)13:00-17:00

概要：「指導医のモチベーションが保てない」という嘆きの言葉を指導医から最近良く聞く。いろいろなことが、指導医のモチベーションに影響を与えると考えられる。指導医だけの問題ではないかもしれない。「指導医のモチベーション」というものをどのように捉えと良いのか。指導医のモチベーションを維持する（もしくは高める）ためにはどうしたら良いのか。本ワークショップでは、小グループ討論を通して解決策を考えていく。

対象：指導医、指導医と関わる研修部門のスタッフ、臨床研修や臨床実習に関心がある医療従事者（定員28名）

## WS-3 医学生・若手医師の系統的キャリア形成を考えるワークショップ

企画：賀来 敦・村田亜紀子（岡山家庭医療センター）、吉田 伸（頤田病院）

日時：10月18日(土)13:00-17:00

概要：2004年度からスタートした新医師臨床研修制度に加え、2015年度からは新専門医制度開始が予定されている。後期研修プログラムの制度化に伴い、さらに学生・研修医の選択肢が広がり人材の流動化が進むと思われる。一方、マッチング説明会・医局説明会等の進路指導は個別に実施されているが、系統的なキャリア教育は医学部では未発達である。今回、「医師のキャリア形成様式の変遷が社会背景からどのような影響を受けてきたのか」を解説し、学生・研修医の支援に必要なキャリア理論をキャリア概念の理解を中心に提供する。また実践的なキャリア教育に、有効なツールとして注目を浴びている『キャリアシミュレーションプログラム』の医学生・研修医版を実際に体験する。

対象：医療系の学生・研修医のキャリア支援に携わる方、関心のある方（定員30名）

## WS-4 クリクラで使えるPBLシナリオWS ～文化人類学的視点を医学生に植え付ける

企画：日本医学教育学会 準備教育・行動科学教育委員会

（和泉俊一郎、星野 晋、竹腰 進、大貫優子、櫻田美雄、道信良子、市川家國、溝口満子、河本慶子、川上ちひろ）

日時：10月18日(土)13:00-17:00、19日(日)9:00-12:30

概要：国際認証を本邦の全医学部が目指している昨今の潮流の中で、卒前での医学的領域の教育は多方面からの充実が期待される。その一方で、社会科学・人文科学にかかわる科目の学習機会の減少が危惧される。「医師としての人格の涵養」のためには、医学生のうちに、社会科学・人文科学の一領域である文化人類学的視点を広い意味で知ることが重要と考えられる。しかし学習者である医学生の立場からすれば、医療現場の文脈に位置づけられた視点が修得されることが喜ばしい。そこで今回のワークショップは、卒後を含めた医療実習現場で困っている教育担当医のあなた！文化人類学的視点を深めたいあなた！現場の悩みから発した問題を文化人類学的視点から考察し、解決できる、興味深いシナリオを、一緒に作ってみませんか？

対象：卒後を含めた医療実習現場で困っている教育担当医の方、文化人類学的視点を深めたい方（定員21名）

## WS-5 医療者教育研究のリサーチクエストを立てる

企画：日本医学教育学会 教育研究開発委員会（鈴木康之、大滝純司、伊藤俊之、石川ひろの、向原 圭、錦織 宏、尾原晴雄、西城卓也）、菊川 誠（九州大学）

日時：10月18日(土)9:00-17:00

概要：臨床研究と教育研究では、研究のデザインが多岐にわたります。日常的教育実践の中で研究テーマを見出したとして、先行研究をどうやって検索するのか？どうやってリサーチクエストを立てて洗練させるのか？どのような方法で調査したらよいか？本ワークショップでは、教育研究における文献検索やリサーチクエストを立てるプロセスと方法論の選択に関する基本を学び、タスクと協力して参加者自身のテーマの中で、リサーチクエストを立てる練習をします。

対象：医療教育研究について関心があり、これから研究を考えようとしている方（定員16名）

## WS-6 模擬患者大交流勉強会

企画： 藤崎和彦（MEDC）、前田純子・坂田真砂子・毎熊隆誉（NPO法人響き合いネットワーク岡山SP研究会）、伊東こずえ（九州大学）

日時： 10月18日(土)13:00-17:00、19日(日)9:00-12:30

概要： MEDC主催で、岐阜、東京、徳島、札幌、広島、千葉、沖縄、東京と模擬患者大交流勉強会が行なわれてきましたが、このたび再び九州地方で開催されます。現在、各地域でSP養成の地域連携が考えられていますが、今回は福岡で今後の地域連携の可能性を考えるSP大交流会を開催します。また、医学、歯学、薬学、看護学など色々な医療従事者のSP参加型医療コミュニケーション教育が拡大され、職種を超えてSP養成の連携が必要となっています。シナリオからイメージをつかみ、役作りする体験をしていくことで、職種を超えたSP参加型教育に対応できる模擬患者の養成を実現したいと思っています。全国の皆さん、美味しい季節の福岡へお集まりください。

対象： 模擬患者参加型教育に関わる模擬患者、教職員、指導者、学生、研修医、医療スタッフ（定員60名）

## WS-7 患者のためのチーム医療における薬学部学生および薬剤師のコミュニケーションスキルアップのために何が必要か？

企画： 島添隆雄・窪田敏夫・小林大介・菊川 誠（九州大学）、平井みどり（神戸大学）、江川 孝（就実大学）

日時： 10月19日(日)9:00-12:30

概要： 薬剤師の職能はますます拡大し、特に臨床現場でのチーム医療における役割は重要になってくる。しかし、薬剤師のコミュニケーション教育は確立しておらず、コミュニケーションスキルのレベルアップは喫緊の課題でもある。この点、医師・看護師のコミュニケーション教育は、一歩先に進んでいる。本ワークショップでは、医師、看護師、開局薬剤師、病院薬剤師、薬学生の多職種間で、コミュニケーションスキルを身につけるための方法について議論し、他の医療者の取り組みを参考にして、今後の円滑なチーム医療に繋げていきたい。

対象： 医師、看護師、開局薬剤師、病院薬剤師、薬学生（定員30名）

## WS-8 学生の心をつかむ臨床指導 ～1分間指導法Get！

企画： 谷口初美（九州大学）、任 和子・内藤知佐子・南 麻弥（京都大学）、野口ゆかり・仲道由紀・末次美子（九州大学）

日時： 10月19日(日)9:00-12:30

概要： 「いまだきの看護学生は？？」と臨床実習で学生指導に苦労している臨床指導者、教員は多いのではないのでしょうか？「臨床実習に臨む学生の態度！モチベーションの低さ！」「私の指導が悪いの？」と落ちこんでいませんか？学生が「臨床実習とっても充実！臨床実習って楽しい！」と感じさせる臨床指導をしてみませんか？いまだきの看護学生の解き明かしとアメリカの総合診療内科から生まれ、短い時間の中で、ポイントを押しさえ効率良く指導でき、「意見や考えを聞く」ことに重点をおいた1分間指導法で導き、更にモチベーションを燃やす指導法を寸劇、ロールプレイ、グループワークを通して、貴方の特技にして臨床指導を共に楽しみませんか！

対象： 臨床指導者、教員、看護師、助産師、保健師  
（本プログラムは、看護教員や看護職を対象としますが、その他の職種の方の参加も可能です）（定員20名）

## WS-9 教育効果の高い症例カンファレンスの実践方法

企画： 吉野俊平・小田浩之・江本 賢・井藤英之（飯塚病院総合診療科）

日時： 10月19日(日)9:00-12:30

概要： ジェネラリストとしての診療能力を修得するためには、臨床決断に至る思考プロセスや、患者の問題に幅広く対応する視点などについて、指導医の下で体系的なトレーニングを受ける必要がある。そのためには、教育カンファレンスは極めて重要であるが、そのノウハウは確立していない。今回症例をもとに双方向性なディスカッションを介しつつ一定の型に沿って診断推論や診療プランの立案を行う形式のカンファレンスを実演し、その様子をもとにグループ討論を行う。ワークショップを通して教育効果の高いカンファレンスを実践するためのポイントを明確化し参加者の教育スキルの向上を図る。

対象： 臨床指導医、研修医、その他臨床推論に関心のある方（定員30名）

## セミナー 電子教材における著作権 ～オープンエデュケーショナルリソース構築のために～

講師： 吉田素文（九州大学大学院医学研究院医学教育学分野）

日時： 10月18日(土)17:15-18:15

概要： Webを介した講義資料の配布や動画配信、つまり教材の作成・提供が容易になりました。しかし、教材中に図表、画像、文章等、他人の著作物が含まれている場合、いくつか注意しておかなければならない点があります。その背景となる著作権法、権利者によるガイドラインや、具体的な事例、解決方法、今後の展望などについて解説したいと思います。



## 参加登録方法

事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。  
「MEDC」で簡単検索できます。

**締め切り：2014年10月5日(日)**

ホームページからお申し込みできない方は、お電話（058-230-6470）にてご連絡ください。  
ワークショップ運営上、各々定員を設けております。  
申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承ください。

**参加費：** 2,000円（資料代） 学部学生無料

**懇親会費：** 5,000円

参加費・懇親会費は、受付時に徴収いたします。  
資料代は、資料ならびに報告書「新しい医学教育の流れ」の作成等に使用いたします。  
参加者には後日、報告書を送付いたします。（学部学生には報告書の送付はありません）

**会場：** 九州大学医学部 百年講堂  
（〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号）



地下鉄箱崎線「馬出九大病院前」下車 徒歩8分  
「7番出口」または「1番出口」より矢印の方向にお進みください。

※詳しい交通案内は、九州大学医学部百年講堂HPをご覧ください。